

令和6年度 放課後等デイサービス ら・ぽるて 自己評価表

計4人の職員が回答

(令和7年 3月15日現在)

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		指導訓練室は国の指定基準の床面積(2.47㎡/人)で言うと14人分になります。又、2Fにはパソコン室を設け、限られたスペースを子供たちが安全に利用できる様に心がけています。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	1	児童指導員、保育士を常時2名以上は配置しています。研修等により今後も専門性を高めていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	現在玄関や屋外のスロープなどが必要な利用者がいない為設置しておりませんが、屋内のバリアフリー化はなされています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1	個別支援計画を基に、毎日の支援開始前のミーティングにて業務の振り返りと軌道修正をしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	保護者等向けアンケートについては平成29年度より行っております。又、面談等により保護者様の意向等は伺っております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	アンケート結果は月報にて、保護者様に配布します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	外部による評価は実施していませんが、今後機会があれば積極的に実施していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	外部研修への参加者が、職場内での勉強会で発表する事により全職員の資質の向上を図っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		個別支援計画を作成する際は、適切にアセスメントを行った上で作成しています。その際、各個人のサービス等利用計画を確認し、保護者様とも直接やり取りを行って利用者様の強みや希望・課題、保護者様の要望等を照らし合わせながら計画を作成しています。また、完成したものは保護者様へ内容を説明し、同意のもとに支援を行います。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	利用にあたっての希望や要望、病歴や育成歴、本人の状態を把握する為に必要な情報を記録するアセスメントシートを用いてアセスメントを行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	日々の活動、週ごとの活動、月ごとの活動について、各利用者様の状況を見て、全職員で話し合っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	本年度は運動療育の活動を増やし、利用者様の反応が良かったものについては、別の月に取り入れたりしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	前年度に比べ、休日・長期休暇は屋外での活動を増やし、児童にもたくさんの体験をできる支援を行ったが、児童一人一人の課題の設定はできていないことが多かったです。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	工作、運動、音楽、季節行事などのイベントを集団活動として行っていますが、利用者様によっては個別に対応するなどしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		支援前のミーティングにて、活動や支援の流れ、役割分担についての確認を行っています。

適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		支援終了後、ケース記録にその日の内容の記録しています。また、次の日のミーティングで情報の共有を図り改善に繋げていける様にしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		業務日誌、ケース記録及び連絡帳に正しく記録を取り、検証や改善に繋げていける様にしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	児童発達支援管理責任者が、個別支援計画作成後に、定められた期間毎（6か月）に保護者様と面談等にて家庭での状況の確認を行い、ケース記録及び日々の報告を基に見直しを継続かの判断を行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	1	同時に複数の基本活動を盛り込む事は難しいですが、長期休暇等も含め、長期的にみて複数組み合わせる支援が行える様に努めています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	事前に情報を集め、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4		契約が行われた場合は、学校側と話し合いを行い、週末に次週の行事及び終業時間の予定表を頂く様にしています。また、不明な点があれば担任の先生に直接確認を行っております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	医療ケアが必要な子どもさんは現在通われていませんが、契約時に、かかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時は迅速に対応できる様にしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	就学前の利用者様については、契約時に保護者様に詳しい内容をご確認させて頂いておりますが、直接保育園・幼稚園等からお話をきいてはおりません。就学後の利用者様については、担任の先生との話し合いの場を設けさせて頂いております。
	㉔	子役を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	未だ就業する卒業生がおらず、卒業後の対応をした事はありません。今後、障害福祉サービス事業所等に移行される方が出てきた場合には、情報提供を行い関係機関と連携をとっていきたくと考えています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	市内の放課後等デイサービスが集まる交流会（協議会）には毎回参加しています。市や県が主催する研修にも参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	昨今の状況を鑑み、交流を主としての活動は行っていません。放課後等デイサービス同士の交流に就きましては、積極的に機会を設けたいと考えています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4	会議が開催される場合は、児童発達支援管理責任者が主に参加しています。本年度は機会がありませんでした。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	保護者様とは連絡帳を通して自宅での様子、施設での様子のやり取りを行っています。特に気になった点などがあれば送迎の際に口頭でお伝えする場合があります。また、面談等を活用し、情報の共有や課題等について共通理解できるよう努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	現在、専門的な支援としてのペアレントトレーニングは行っていません。今後専門的な職員向けの研修などの機会があれば積極的に参加したいと考えています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		利用前の見学や契約の際に、施設の紹介や放課後等デイサービスの支援内容、活動内容および利用料の説明を行っています。また、重要事項説明書等に変更があれば文書にてお知らせする様にしています。今後も継続して解りやすい説明に努め、即時対応に努めます。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	面談でお話を伺いますが、それ以外の場合でも御希望があればいつでも対応しています。

保護者への説明責任等		保護者は利用し入居を拒否しているか			保護者は利用し入居を拒否しているか
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	本年度も昨年度に続き、社会情勢上困難な為断念しました。来年度より保護者の要望を踏まえつつ、交流の場を計画できればと考えています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	苦情解決窓口を設置しており、契約時に保護者の方に説明を行っています。苦情が発生した時にはスタッフ間で原因究明と再発防止策を検討し対応しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		毎月各利用者様の活動内容を、保護者様宛に発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4		個人情報は事業所内の、鍵付き書庫にて保管しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	利用者様の性格や特性を把握した上で、一人ひとりに合った対応を取れるよう配慮しています。また、視覚的、聴覚的、体感的などどのような方法で理解が深まるかも加味し、その子どもに合わせた伝達方法で意思疎通を図っています
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	地域交流できる機会を作っていきたいと考えています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		防犯・感染症はそれぞれ事業所の指針を作成し、随時更新をしています。職員、保護者が簡易に閲覧できるよう設置しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		施設内の自主訓練は実施しています。定期的に利用児童も一緒に避難場所を確認しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		虐待研修に参加し、事業所内での意識の共有を図っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	身体拘束が必要な場合は、計画書に記載する等の準備はしておりますが、現状、身体拘束を必要とする利用者様はおりません。しかし、身体拘束に至る可能性は常にありうる事を念頭におき、対応方法等は毎年社内研修で、職員全員が理解を深めています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	家族を通じてアセスメントし、計画書に記載する様にしていますが、まだ、該当者がいない為、現在対応していません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4	該当する場合は、事例の報告書を作成し内容を共有しています。